

各種監査業務の重複を解消し、監査業務の効率化・省力化を目指す

統合監査を進める際の実務とその勘所

統合監査にあたっての現実的な課題について皆様と一緒に検討していきます

- 【日 時】 2014年9月30日(火) 13:00 ~ 16:45
 【会 場】 東京メトロ麹町駅 徒歩5分 企業研究会セミナールーム
 【講 師】 監査サービス創造研究所 所長 公認会計士 土田 義憲 氏
 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー公認会計士 東 義 弘 氏
 【対 象】 内部監査部門にご所属しているスタッフ・マネージャーで
 監査業務の効率化と具体的進め方について実践的な知識を習得されたい方

- 【参加料金】 正会員： 31,320 円 (本体価格29,000円)
 一 般： 34,560 円 (本体価格32,000円)
 1名分(税込み・資料代含む)

- 【参加要領】 下記申込書に所定事項ご記入の上、下記宛 FAX または E-mail にてお送り下さい。
 弊会ホームページからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送りします。
 お申し込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込み者をご出席できない場合には、
 代理の方のご出席をお願い申し上げます。
 最少催行人数に満たない場合には、中止とさせて頂く事もありますので、ご了承下さい。
 セミナーに関するお問い合わせについては、弊会ホームページより〔公開セミナー〕〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局

(担当)鈴木 E-mail: a-suzuki@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 (麹町 31MTビル 2F)

TEL: 03-5215-3550 FAX: 03-5215-0951

申込書をご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意願います。

申込書

141298-0202	9/30 開催	統合監査を進める際の実務とその勘所	
会社名			
住 所	〒		
T E L		F A X	
部 課		フリガナ	
役 職		お名前	
e-mail			
部 課		フリガナ	
役 職		お名前	
e-mail			

申込書にご記入頂きました個人情報、本件に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

各種監査業務の重複を解消し、監査業務の効率化・省力化を目指す 統合監査を進める際の実務とその勘所

【開催にあたって】

会社には、J-SOX 監査、コンプライアンスや情報セキュリティ、個人情報保護監査など、さまざまな監査があります。それらが別々に実施されることにより、監査を受ける業務部門は、その都度、類似の資料を準備するような非効率な対応をしなければなりません。そこで現在、監査部門ならびに業務部門双方の負担を軽減するために、複数の監査を同時に実施する統合監査に関心が高まっています。

本セミナーでは、**複数監査の統合の必要性を検討し、統合監査の実例紹介 統合監査を実際に進める上での問題点と解決策**を参加者との意見交換を通じて検討していきます。

<ご注意>本セミナーは、参加者の疑問点や課題に対する解決策を受講者との意見交換を通じて検討していく講演スタイルで実施します。

時間	内 容
13:00	<p>1. 内部監査の種類と統合の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 種類 (2) 統合の必要性(各社の状況はいかがですか?) (3) J-SOX, コンプライアンス、リスクマネジメント, ISO の関係 (4) 統合監査の発展プロセス <p>2. 統合監査における内部統制の有効性評価の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 内部統制の評価手順 (2) 複数のリスクに係る業務プロセス <ul style="list-style-type: none"> ・関係する業務の識別 ・評価アプローチの決定 (3) 複数のリスクに対する内部統制 <ul style="list-style-type: none"> ・業務の理解 ・リスクの発生原因 ・リスクを低減する内部統制 ・業務の流れとリスクおよび統制の関係 <p>3. 事実確認の監査から内部統制の有効性監査への変換 監査確認事項とリスク リスクに対する内部統制の識別 監査調書の標準化</p>
14:00 休憩	
14:15	<p>4. 統合監査の取組事例</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 統合監査の類型 <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント活動と内部監査の関係 (2) リスクマネジメント活動の分析を中心にしたモニタリング統合の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・類似性の高いリスクマネジメント活動の統合事例 ・異なる内部監査テーマの統合事例 ・類似性の低いリスクマネジメント活動を統合した事例 <p>5. 演習 複数のリスクマネジメントシステムが存在する場合の監査計画策定について検討します。</p>
16:45	<p>監査サービス創造研究所 所長 公認会計士 土田 義憲 氏(第1~3講担当)</p> <p>〔講師ご略歴〕新日本有限責任監査法人シニアパートナーを経て、現在、監査サービス創造研究所 所長。公認会計士。日本公認会計士協会『内部統制検討専門委員会経営者評価小委員会』委員長(2005年7月~2008年8月)。企業会計審議会専門委員(2005年11月~2007年3月)。主な著書に「内部統制の実務」(第32回日本公認会計士協会学術賞受賞)、「財務報告に係る内部統制の実務」、「内部統制の評価モデル」、「業務プロセスからみた内部統制実践マニュアル」、「内部監査の実務」、「内部監査人養成プログラム」、「内部統制報告制度の実務」、「監査役の新仕事」、「これからの内部監査部門の仕事」、「法令等遵守の内部統制」などがある。</p> <p>新日本有限責任監査法人 シニアパートナー公認会計士 東 義弘 氏(第4~5講担当)</p> <p>〔講師ご略歴〕新日本有限責任監査法人ビジネスリスクアドバイザー部長、シニアパートナー、公認会計士、公認不正検査士。新日本有限責任監査法人、外資系リスクコンサルティングファームにて、コーポレートガバナンス、事業会社管理態勢構築、内部統制整備、リスクマネジメント、コンプライアンスリスク管理等の支援に多数従事。大手総合商社勤務時は、国内外の関係会社管理、カントリーリスク、与信リスク管理、Due Diligence、事業清算・売却案件に従事。</p>